

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	議会ICT化推進事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820376	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070201	施策名	ICTの活用により利便性の高いサービスを提供する									
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市議会基本条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民に身近で開かれた議会を実現するため、議会のICT化をさらに発展させ、議会運営の効率化と議会の機能強化を図る。												
対象者	議員・議会事務局職員	対象者数	34	単位あたりコスト	184.9								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	ソフトバンク株式会社												
事業概要 (箇条書き)	平成29年10月から議員一人ひとりにタブレット端末を導入し、文書共有・会議システム、議員用グループウェアを活用し、会議運営の効率化やペーパーレス化、さらに住民説明や市民相談への対応の充実化など、議会運営の効率化と議会の機能強化を推進している。なお、タブレット端末の通信料(本体費用を含む)の50%は議員が負担する。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	役員費	1,257	タブレット端末通信料(本体費用を含む)										
	使用料及び賃借料	990	文書共有・会議システム										
	需用費	661	年間ライセンス料(Microsoft Office、端末管理システム)、議員用グループウェア										
	備品購入費	114	スクリーン、スピーカーほか										
	委託料	65	タブレット端末データ消去業務										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,800	3,693	2,925	6,746				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,800	3,693	2,925	6,746					
予算財源内訳	① 一般財源	3,248	2,981	2,482	6,303				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	552	712	443	443				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	3,800	3,693	0	0				
	③ 執行額	3,646	3,087	0	0				
	④ 執行率	95.9%	83.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.43 / 0.00	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	3,440	3,200	3,200	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,086	6,287	3,200	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	タブレット端末通信料議員負担金		種類	雑入	実績金額	444	48	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	委員会政策提言数	件	5/4	1 / 2	2 / 4	/ 2	4
	議員議案提案数(条例)	件	0/1	0 / 1	0 / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	ペーパーレス資料ページ数	枚	177,000/100,000	219000 / 100000	184900 / 100000	/ 100000	100000
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
	本会議スクリーン使用者数	人	22/20	36 / 20	20 / 20	/ 20	20
単位あたりコスト		154.1	101.3	154.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	議会改革推進の一環として、議会機能の強化を図り、市民に開かれた議会を実現するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	迅速かつ正確に情報伝達、情報共有が図れ効率的な会議運営が可能となっている。また、会議資料のペーパーレス化など、事務の効率化・省力化にもつながった。現在は議会だけの導入(試行導入)であるが、執行部にも導入(本格導入)されることで、効率性・有効性はさらに高まるものと考えられる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	議会内の情報共有の速達性、正確性の向上などによる議会機能の強化や、一般質問の「見える化」による市民との情報共有、情報公開にICTを活用し、市民に開かれた議会の実現に効果が得られている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>平成29年10月からタブレット端末をはじめとしたICTを導入し、本会議、各委員会、また、個々の議員活動などで有効に活用されている。導入後1年間をかけて実施した効果検証の中では、各種情報の伝達と共有、会議運営などの面で、速達性、確実性が格段に向上したこと、また、市の条例や行政計画、他市の情報など、多くの情報資源に基づいて、調査研究、協議検討することができるようになったことなどにより、充実し深化した議事運営、議員活動が実現していることが確認できた。</p> <p>また、会議資料のペーパーレス化により、経済性の面でも大幅に向上したことに加え、執行部からの緊急を要する議会対応や、会議資料の追加、差替えなどにも瞬時の対応が可能となるなど、執行部と議会との円滑な意思疎通にもつながっており、事務の効率化、省力化という面でも大きな効果を得ている。</p> <p>令和元年度には、議場に吊り下げ型のスクリーンと高輝度のプロジェクターを整備して、一般質問で投影される資料の「見えやすさ」を改善した。令和2年度には、コロナ禍の中、オンライン会議の施行実施に係る検討事項と当面の実施方法について各派幹事会で確認した。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの基本的な活用の更なる充実化により、議会機能の強化と市民との情報共有を推進する。(例えば、一般質問でのスクリーン使用の頻度・効果の向上、インターネット上の情報資源の活用の充実化やデータベース整備などによる政策形成能力・行政監視能力の向上、住民説明や現場対応など住民との直接的な関わりの中での活用の充実化) 福知山市議会らしい効果的な活用方法について、検討や掘り起こしを行い、実践と定着化を図る。(例えば、タブレットを活用した情報共有・意思伝達による会議開催回数を削減するなど) コロナ禍の中、タブレットを活用した情報共有・意思伝達による会議開催等に活用する。 一般質問でのスクリーン使用では令和2年度には「内容・量に関すること」「試用の手続きに関すること」「会議録との関係」としての課題ができたため、課題を整理し「試行」でなく本格実施に切り替え市民にわかりやすい議会を目指す。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>平成29年度は6ヶ月、平成30・31年度は2ヶ年の継続スパン(長期継続契約等)により事業を実施してきた。ICT(タブレット及び関連システム)の使用が定着し、ペーパーレス化や一般質問でのスクリーン活用など、議会活動での利活用が充実してきているところである。</p> <p>このような状況を踏まえ、令和2年度以降は、令和2年4月1日から令和5年4月30日(現議員の任期の末日)までの37ヶ月を一連の事業期間として見据える。</p> <p>また、コロナ禍のなか、タブレットを有効に利用し感染対策にも対応した。今後は5階フロアのWi-Fi機能を充実し、より一層、危機管理体制を整備していきたい。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	政務活動費事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820350	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	地方自治法、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	議員の調査・研究などの政務活動を充実させることにより、議会機能の強化と議員の政策形成能力の向上を図る。												
対象者	議員	対象者数	24	単位あたりコスト	123.4								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・議員の調査・研究、その他の活動に必要な経費の一部として、会派(無会派議員も会派とみなす)に対して会派所属議員1人につき年額18万円を上限として年2回実績に基づいて交付しているが、新型コロナウイルス感染症対策への財源として活用いただくことを目的に、議員1人当たり年額10万円を削減した。 ・政務活動に基づいた調査研究の成果が、議会全体での政策提言に反映されるよう、全議員協議会で研修内容の報告を行った。 ・市議会の透明性を高めるため政務活動費の収支報告書、領収書をホームページ上で公開した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	負担金補助及び交付金	1,112	政務活動費										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320		
	② 補正予算	0	△ 2,400	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0		
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0		
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0		
小計(①～③)	4,320	1,920	4,320	4,320	4,320	4,320			
予算財源内訳	① 一般財源	4,320	1,920	4,320	4,320	4,320	4,320		
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0		
	② 配当予算	4,320	1,920	0	0	0	0		
	③ 執行額	2,749	1,112	0	0	0	0		
	④ 執行率	63.6%	57.9%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.20 / 0.10	0.20 / 0.10	0.20 / 0.10	0.20 / 0.10	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	1,850	1,850	1,850	1,850	0	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,599	2,962	1,850	1,850	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	政策提言数	件	5/4	1 / 2	2 / 5	/	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	視察研修、セミナー参加者数	人	133/135	135 / 135	23 / 135	/	135
	単位あたりコスト		21.7	20.4	48.3		
	行政視察報告会開催数	回	2/2	2 / 2	1 / 2	/	2
	単位あたりコスト		1440.5	1374.3	1112.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	議員の調査・研究、その他の活動に資するために必要な経費として、条例に基づき交付している。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	適宜、金額、交付方法、情報公開のあり方などを検討し、必要に応じて見直しを行い、適正かつ効率的に執行されるよう努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	平成27年度から、公の場で行政視察研修報告会を開催し、成果内容の共有を行っている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費の額、使途基準、情報公開のあり方など、その時々適正な運用について継続的に検討し、市民に対する透明性をしっかりと確保する中で、適正に支出を行った。 交付された政務活動費は、主に調査研究や研修などに有効に活用されており、その研修成果を報告し全議員で共有した。 平成29年度からは、実績に応じた精算払いとし、併せて領収書などのWEB上での全面公開を開始しており、より透明性の高い運用を行っている。 政務活動に基づいた調査研究の成果が、議会全体での政策提言に反映されるよう、本市での施策実現に向けた比較研究を明記した報告書を作成し報告会を行った。 本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため会派の行政視察、研修の参加に大幅の制限がかかった。 本年度の政務活動費は、新型コロナウイルス感染症対策への財源として活用いただくことを目的に、上限額を議員1人当たり年間18万円のところ10万円を削減した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 政務活動費が適正な支出となるよう使途基準を明確化することで効率的な事務執行に努め、人件費の抑制を行う。 研修の成果が全議員で共有されるよう今後も行政視察研修会を実施していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の行政視察については、事業効果を高めるために、本市の実態や全国的な状況の把握、執行部との意見交換など事前学習の機会を委員会活動に組み込む。また、行政視察で作成する報告書は、行政視察研修報告会、ホームページなどで公開することを見据え、充実した内容としていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	議会委員会活動等事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820335	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	昭和32年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市議会基本条例、福知山市議会委員会条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	常任委員会、議会運営委員会、特別委員会における、調査・研究活動の充実を図り、政策提言などを通じて本市の施策に反映させる。												
対象者	議員	対象者数	24	単位あたりコスト	590.6								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・常任委員会、議会運営委員会、特別委員会の調査・研究活動の一環として、先進地視察・現地調査・要望活動などを計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限された。 ・さまざまな政策課題について、市民、地域の声を直接聞き、政策提言につなげるため出張委員会を実施した。 ・要望活動については、新型コロナウイルス感染症の関係で要望書を郵送することで対応した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	需用費	5	消耗品費										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,509	3,374	3,373	3,374				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	3,509	3,374	3,373	3,374					
予算財源内訳	① 一般財源	3,509	3,374	3,373	3,374				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	3,509	3,374	0	0				
	③ 執行額	2,201	5	0	0				
	④ 執行率	62.7%	0.1%						
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.70 / 0.10	1.74 / 0.10	1.74 / 0.10	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	13,850	14,170	14,170	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,051	14,175	14,170	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	委員会政策提言数	件	5/4	1 / 2	2 / 4	/ 2	4
	議員提案議案数(条例)	件	0/1	0 / 1	0 / 1	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	委員会行政視察件数	回	14/17	8 / 17	1 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		204.6	275.1	5.0		
	委員会調査研究協議数(常任委員会)	回	68/78	46 / 80	37 / 50	/ 50	50
単位あたりコスト		42.1	47.8	0.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	積極的な政策提言により、本市の施策への反映につなげるために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	関連する委員会は合同で視察研修を実施するなど経費節減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	具体的な政策提言につなげるため、委員会の恒常的な調査研究活動が必要である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、先進地視察や現地調査、要望活動に制限がかかり十分な調査研究を実施することができなかったが、実施可能な範囲で地元団体との意見交換を行うなどの調査研究を実施し政策提言を提出した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民が外出することが制限される中、ホームページから意見を聴取する取り組みを行い、その意見の課題解決に向けて関係各課との調整や本会議での一般質問でとりあげた。 ・議会基本条例の施行から6年が経過するなか、これまでの具体的な取り組みに基づいて自己評価し、「検証・評価」をとりまとめ、議会だより、ホームページへの掲載や議長記者会見を開催し、議会改革の取り組みを市民にお知らせした。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政視察については、近隣自治体も選択肢に含めた視察先を選定するとともに、関連する委員会は合同で実施するなど経費の縮減に努め、今後も効率性を高めながら実施していく。また、効果的な行政視察となるよう、事前学習を充実させるとともに、視察後の報告会までを一連の流れとして委員会活動を行う。 ・出張委員会、執行部や市民との意見交換会等も積極的に実施する中で、各委員会の調査・研究活動の活性化を図り、より実効性の高い政策を提言していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の行政視察については、事業効果を高めるために、本市の実態や全国的な状況の把握、執行部との意見交換など事前学習の機会を委員会活動に組み込む。また、行政視察で作成する報告書は、行政視察研修報告会、ホームページなどで公開することを見据え、充実した内容としていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	議会運営一般事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820325	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	昭和12年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市議会基本条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地方公共団体の議決機関である議会を円滑に運営することで、住民福祉の向上に寄与することが地方議会の本旨である。そのために、平成25年4月に施行した「福知山市議会基本条例」に則り、本会議、委員会などの活性化、適正かつ効率的な議会運営を推進し、市民に信頼され、評価される議会を構築する。												
対象者	議員	対象者数	24	単位あたりコスト	1,013.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等	神戸総合速記株式会社(一部事業を委託)												
事業概要 (箇条書き)	・会議などに関する事務(本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、全議員協議会など) ・正副議長の公務に関する事務 ・議事事項や議会運営に関する一般事務 ・議員報酬や議員共済などに関する一般事務 ・議会運営が「市民に信頼され評価される議会」を目指した福知山市議会基本条例の目的を、原則に即して実践されているかどうか検証評価を行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	委託料	2,084	会議録作成費用など										
	需用費	842	消耗品費など										
	負担金補助及び交付金	702	議長会関係分担金、加盟団体分担金										
	役務費	252	通信・電話料など										
使用料及び賃借料ほか	378	複写機使用料など234 交際費39 その他105											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	7,017	6,643	6,129	15,295				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	7,017	6,643	6,129	15,295					
予算財源内訳	① 一般財源	7,017	6,643	6,129	15,295				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 0	△ 170	0	0				
	② 配当予算	7,017	6,473	0	0				
	③ 執行額	5,499	4,258	0	0				
	④ 執行率	78.4%	65.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	2.17 / 0.20	2.43 / 0.25	2.43 / 0.25	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	17,860	20,065	20,065	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,359	24,323	20,065	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代		種類	雑入	実績金額	6	46	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	議案審査数	件	164/190	193 / 190	188 / 190	/	190
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	本会議開催日数	日	23/22	27 / 22	32 / 22	/	22
	単位あたりコスト		236.2	203.7	133.1		
	委員会開催数	回	298	229 / 260	215 / 260	/	260
単位あたりコスト		18.2	24.0	19.8			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	議会の果たすべき役割である意思決定機関として、必要不可欠な事務事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	各種法令、規定に基づき適正に事務を執行し、円滑な議会運営を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	各種法令、規定に基づき適正に事務を執行し、円滑な議会運営を行った。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価			<ul style="list-style-type: none"> ・「福知山市議会基本条例」に則り、効率的な事務執行に努めながら、各種法令、規定に基づき適正かつ円滑な議会運営を行った。 ・議会基本条例の検証を実施し、今後のあるべき姿について整理した。 ・令和2年度はコロナ関連の緊急対策に対応するため、定例会のほか臨時会を3回開催した。
これまでの課題及び今後の方向性			<ul style="list-style-type: none"> ・「福知山市議会基本条例」に則り、情報公開、住民参加、議員間自由討議の原則のもと、適正かつ円滑な議会運営を行う。 ・議会基本条例の検証をもとに、情報公開、市民参加、議会の機能強化を進めていく。

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・「福知山市議会基本条例」に則り、情報公開、住民参加、議員間自由討議のもと、適正かつ円滑な議会運営を行う。 ・全議員協議会室の音声設備の整備後、一定期間が経過したことから、機器の更新を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	議員費用弁償事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820320	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	昭和31年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	適正かつ円滑な議会運営を行う。												
対象者	議員	対象者数	24	単位あたりコスト	89.5								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・「福知山市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」に基づき、議長等が召集に応じ、若しくは委員会に出席するため旅行したとき又は公務のため旅行したときは、その旅行について、1日につき路程に応じて37円/kmを費用弁償として支給した。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	旅費	1,099	委員会等費用弁償										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)		R2(評価年度)		R3(本年度)		R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,173	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,173	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	
予算財源内訳	① 一般財源	1,173	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	
	② 配当予算	1,173	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	1,199	
	③ 執行額	1,173	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	
	④ 執行率	100.0%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	91.7%	
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.10 / 0.10	0.10 / 0.10	0.10 / 0.10	0.10 / 0.10	0.10 / 0.10	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,223	2,149	2,149	2,149	2,149	2,149	2,149	2,149	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	対象日数×対象人数(延べ)	人日	2290/2500	2129 / 2500	1964 / 2500	/ 2500	2500
	単位あたりコスト		0.4	0.6	0.6		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	円滑な議会運営を行うために必要な経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	実績に基づき適正な支出を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	実績に基づき適正な支出を行った。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	議員の負担軽減と経費の縮減を図るため、効率的な日程調整と会議運営に努めながら、法令と実績に基づいた適正な支出を行った。実費の弁償に伴う支出であり、成果指標の設定になじまないため、成果実績は記載しない。【定性的評価】		
これまでの課題及び今後の方向性	議員の負担軽減と経費の縮減を図るため、効率的な日程調整と会議運営に努めながら、法令と実績に基づいた適正な支出を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・議員の負担軽減と経費の縮減を図るため、効率的な日程調整と会議運営に努めながら、法令と実績に基づいた適正な支出を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	広報広聴活動事業												
事業担当	所属	01010000 市議会 議会事務局					所属長	小野木 正章					
会計情報	事業コード	820101	款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
施策体系	施策コード	070101	施策名	時代のニーズに即応した行政経営の推進をする									
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名								
根拠法令等	福知山市議会基本条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	本会議、委員会の審査経過や結果、委員会の調査・研究などの議会活動を広く市民に周知し、「市民に開かれた議会」を実現する。												
対象者	全市民	対象者数	77,122	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・議会の情報を市民に提供するため、議会だよりを編集・発行し全戸配布するとともに、市議会ホームページを運用した。 ・「市民の声」を直接聞き、市政や議会運営に反映する議会報告会の開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため開催を断念した。 ・議案の審査過程を広く公開するため、WEB上で会議録を公開するとともに、本会議、予算決算審査委員会、請願審査などのライブ中継・録画配信を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、市民が外出することが制限される中、ホームページから意見を聴取する取り組みを行った。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容										
	使用料及び賃借料	4,290	会議録検索システム、ライブ中継・録画配信システム利用料										
	需用費	3,432	議会だより印刷製本費										
	報償費	8	要約筆記謝礼										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,209	7,637	8,311	8,133			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	5,209	7,637	8,311	8,133			
予算財源内訳	① 一般財源	4,468	7,369	8,202	8,024			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	741	268	109	109			
決算情報	① 流充用額	0	170	0	0			
	② 配当予算	5,209	7,807	0	0			
	③ 執行額	5,103	7,730	0	0			
	④ 執行率	98.0%	99.0%					
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.85 / 0.40	0.97 / 0.45	0.97 / 0.45	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	7,800	8,885	8,885	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,903	16,615	8,885	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	広報誌等広告収入	種類	雑入	実績金額	70	44	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	議会報告会参加者数	人	58/100	76 / 100	0 / 100	/ 100	100
	委員会等ライブ・録画閲覧数	件	8808/15000	12235 / 15000	24747 / 15000	/ 15000	15000
	活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	議会報告会開催回数(会場)	回	4/4	3 / 4	0 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		1232.3	1700.8			
	委員会等ライブ中継回数	回	30/26	30 / 26	63 / 26	/ 26	26
	単位あたりコスト		164.3	170.1	122.7		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	市政や議会運営に市民の声を取り入れるため、積極的な情報発信が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	事業の実施に当たっては、広報広聴委員会が主体となって実施し、必要に応じて業務発注を行っている。議会だよりでは有料広告の掲載を行った。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会については、コロナ禍の状況で開催を断念したが、市民が外出することが制限される中、ホームページから意見聴取する取り組みを行った。 ・議会のライブ中継については、対象とする会議を増やし積極的な発信を行った。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の事業で構成されるが、年間計画に基づき個々の関係事業を実施し、行政や議会に対する市民の関心度の向上を図ることができた。 ・主要事業となる「議会だより」の発行については、掲載内容に関心を持ってもらうための効果的な掲載方法を常に意識して編集作業を行った。 ・ホームページの運用については、議会活動の情報を素早くお知らせするとともに、知りたい情報にたどり着きやすい掲載内容とした。 ・議会報告会については、団体との開催に向けて準備を進めていたが、コロナ禍の状況で開催を断念した。 ・議会のライブ中継については、対象とする会議を増やし、議会活動の積極的な発信を行った。 ・議会だより、議会ホームページでは令和元年度から有料広告の募集を開始し、議会だよりにおいて広告掲載を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、市民が外出することが制限される中、ホームページから意見を聴取する取り組みを行い、その意見の課題解決に向けて関係各課との調整や一般質問にとりあげた。 ・委員会ライブ中継のスマートホン対応や同時視聴可能者数を増やすためにシステムを更新したことにより閲覧数が増加している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>「読まれ、伝わる」議会だよりの発行を目指し、編集技術を高め「議会の見える化」を進める。議会報告会については、これまでの開催結果や他市の取組状況を分析する中で、「議会の情報発信と市民の意見を聞く」より有効な場となるよう、随時、開催方法を検討し実施する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	
----------	--

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりについては、本会議や委員会の審議経過や結果、委員会の調査・研修内容などの議会の情報をより分かりやすく市民に提供していく。 ・議会報告会については、開催結果を分析し、より充実した意見交換会となるように内容を研究し実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ー) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: ー)
--------	---